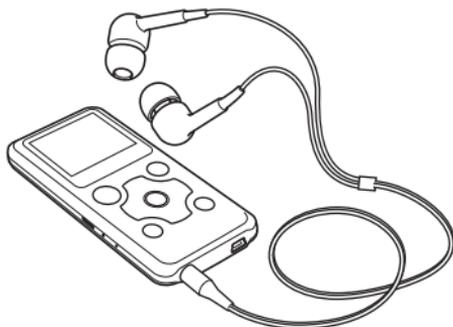
取扱説明書 / 保証書

デジタルオーディオプレイヤー

XA-M40-A/-B/-N/-R/-W
XA-M20-A/-B/-N/-R/-W
XA-M10-A/-B/-N/-R/-W

お買い上げありがとうございます。

⚠ ご使用の前に

この「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「**安全上のご注意**」は、必ずお読みになり安全にお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録
のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報などの提供サービスなどをご利用いただけます。

http://www.victor.co.jp/reg/

LVT1925-001B

目次

・ Microsoft、Windows、および Windows Media は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
・ 本取扱説明書に記載の他のシステム名および製品名は通常、そのシステムまたは製品の開発メーカーの登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。「安全に正しくお使いいただくために」に従って正しい取り扱いをしてください。

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

 危険：人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 警告：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ **絵表示の例**

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗記号は行為の指示を告げるものです。

本体について

⚠警告

■ 自動車やバイク、自転車などを運転中は使用しない

・運転中に使用すると、交通事故の原因となります。
・また、歩きながら（特に踏切や横断歩道など）使用するときも周囲の交通や路面状況に十分ご注意ください。

■ 分解・改造しない

・内部に金属物が入ると、故障や火災、感電の原因となります。
・点検や修理は販売店にご依頼ください。

■ 幼児、子供の手の届く場所に放置しない

・誤ってケーブル類やストラップを首に巻き付け、窒息を起こす原因となります。

■ 電池の取り扱いに注意する

・内蔵充電池が液漏れしてしまったときは、よく拭きとってください。
・万一、漏れた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。

⚠注意

■ 大音量で長時間つづけて聞きすぎない

・耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
・はじめから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳をいためることがあります。
音量は徐々に上げましょう。

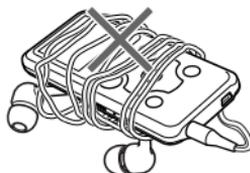
■ 水をかけたりぬらしたりしない

・機器を水がかかる場所（風呂場や台所など）で使用すると、内部に水が入り、火災や故障の原因となります。

ヘッドホンについて

⚠注意

■ 本体に巻きつけない

・コードが断線し、音が聞こえなくなるなどの不具合が発生することがあります。

使用上のご注意

■ 本体の置き場所について

次のような場所には置かないでください。変形や変色、故障の原因となります。

- ・ 窓を閉めきった自動車の中（とくに夏期）
- ・ 風呂場など湿気の多いところ
- ・ ホコリの多いところ
- ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- ・ 腐食性のガスなどが発生するところ

■ 航空機の中では電源を入れないでください

機内の電子機器に影響を与える恐れがあります。機内では必ず電源を切っておいてください。

■ 落としたり強い衝撃を加えないでください

破損や故障の原因になることがあります。

■ 汗や水に濡れた手で操作しないでください

感電や電子回路のショート、腐食の原因となります。身につけて使用する場合、汗などの水分が内部に入らないようにしてください。

■ 雷が鳴り出したら電源を切り、ヘッドホンをはずし、使用しないでください

感電の原因になります。

本書の読みかた

本書を有効に活用していただくために、本書の読みかたをご紹介します。
本書は以下の構成になっています。

第 1 章
はじめに お読みください　⇒ 11 ページ

第 2 章
基本操作　⇒ 21 ページ

第 3 章
パソコンから音楽ファイルを転送する
⇒ 25 ページ

第 4 章
音楽を聴く
⇒ 37 ページ

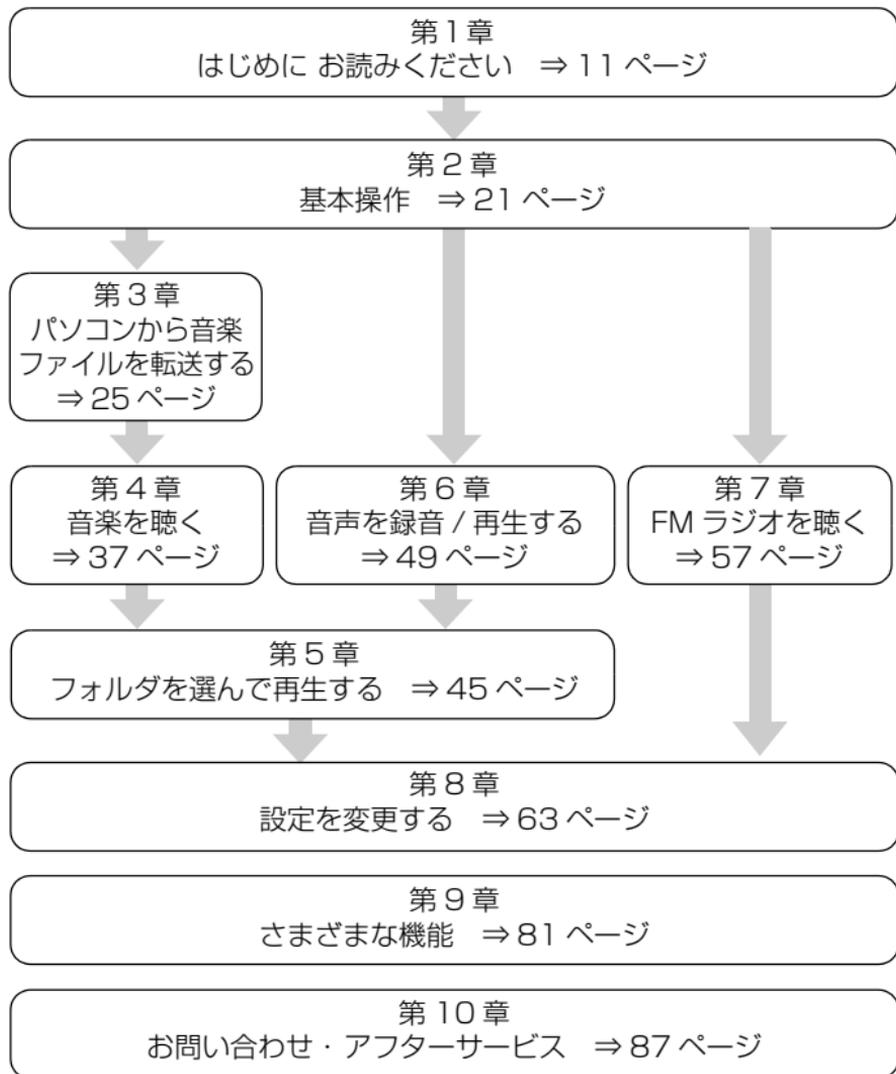
第 6 章
音声を録音 / 再生する
⇒ 49 ページ

第 7 章
FM ラジオを聴く
⇒ 57 ページ

第 5 章
フォルダを選んで再生する　⇒ 45 ページ

第 8 章
設定を変更する　⇒ 63 ページ

第 9 章
さまざまな機能　⇒ 81 ページ

第 10 章
お問い合わせ・アフターサービス　⇒ 87 ページ

第 1 章 はじめに
お読みください

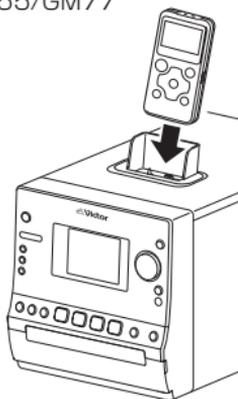
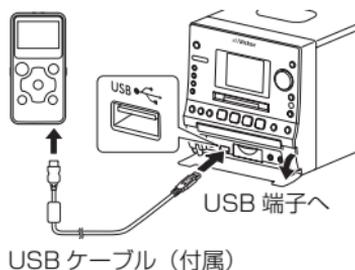
1-1. XA-M40/M20/M10 のご紹介

このたびは、『XA-M40/M20/M10』（以降、『本機』と記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機は手軽に音楽を楽しむことのできるデジタルオーディオプレイヤーです。
本書は、初めてデジタルオーディオプレイヤーをご使用される方にも安心して操作を進めていただけるような構成になっています。
本機をご使用になる前に、必ず本書をお読みいただき、また読んだあとも本書をお手元に置いて、いつでも活用できるようにしてください。

主な特長

● **メモリーコンポと連携すれば便利さアップ！**

本機と当社製メモリーコンポ（別売品：UX-GM55、UX-GM77、UX-GM50、UX-GM70 など）を USB 接続して再生すれば、スピーカーで高音質なサウンドが楽しめます。また、パソコンがなくてもメモリーコンポに CD を録り貯めることができ、聞きたい曲だけ本機にスピード転送できます。本機の充電もできます。

UX-GM55/GM77

UX-GM50/GM70

- **音声をメモ！（ボイスレコーディング機能を搭載）**
  ふと思いついたことや大切な用件を音声で残しておくなど、様々なシーンで活用できます。
- **さまざまな音楽フォーマットに対応！（MP3/WMA/WMA-DRM）**
  MP3 および WMA の 2 つのフォーマットに対応。また、デジタル著作権管理技術に対応した WMA-DRM も再生できます。

お知らせ

他の USB 端子を持つ機器と接続した場合の動作は保証できません。

1-2. 箱の中身を確認する

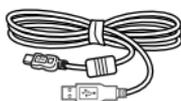
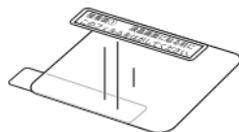
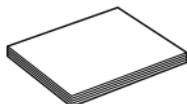
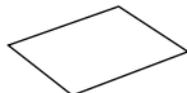
お使いになる前に付属品をご確認ください。不足しているものがありましたら、お買い上げいただいた販売店またはビクターサービス窓口にご連絡ください。

● **本機**

● **シリコンケース**

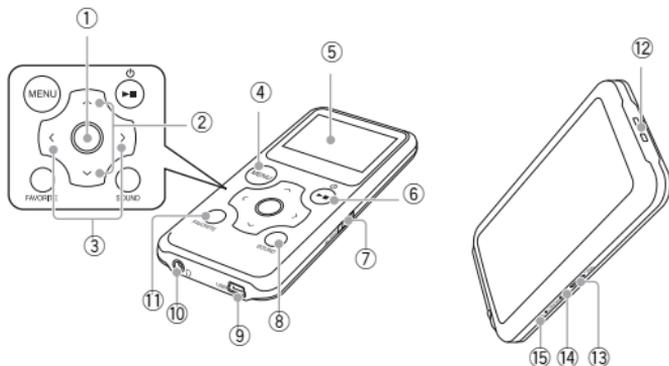
● **イヤーパッド**
（S サイズ、L サイズ）
（各サイズ 2 個 1 組）

● **ヘッドホン**
※Mサイズのイヤーパッドが装着されています。

● **USB ケーブル**

● **保護シート（※）**

● **取扱説明書 / 保証書（本書）**

● **デジタルオーディオプレイヤークイックガイド**

※ 接着面を確認してからフィルムをはがし、表示窓に貼り付けてください。保護シートは、貼り直しが可能です。

1-3. 各部の名前とはたらき

本体

各部の名前は次のとおりです。

① ◯（決定）ボタン
リスト画面では選択したメニューを確定するときに押します。
音楽再生画面で押すと再生中の楽曲の経過時間と、残り時間の表示を切り替えられます。

② ∧（上へ）/ ∨（下へ）ボタン
音楽再生時、音量を調節します。

③ ＜（前へ）/ ＞（次へ）ボタン
音楽再生中は音楽データを、リスト画面では表示画面を、進めたり、戻したりできます。

④ MENU（メニュー）ボタン
メニュー画面を表示します。

⑤ 表示窓

⑥ ⏻ / ▷□（電源、再生 / 停止）ボタン

ホールド
⑦ HOLD スイッチ
ボタンをロックして誤操作を防ぎます。

サウンド
⑧ SOUND ボタン
音楽再生画面で、サウンドモードの切り替えができます。

⑨ USB 端子

⑩ ヘッドホン端子

フェイバリット
⑪ FAVORITE ボタン
お気に入りに登録した曲を表示します。
音楽再生画面で押しつづけると、再生中の曲をお気に入りに登録できます。

⑫ ストラップ取り付け穴
市販のストラップを取り付けるときに使います。

⑬ REC（録音）ボタン
ボイス録音画面で、録音をスタート、またはストップさせるときに押します。
他の画面を表示しているときに押すと、ボイス録音画面を表示します。

リセット
⑭ RESET ボタン
操作できなくなったときに押します。

⑮ 内蔵マイク

ディスプレイ（表示窓）

再生中のディスプレイ表示は次のようになります。

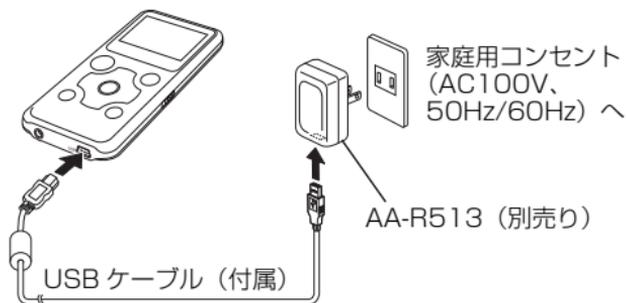
ミュージックモード / ボイスモード

① 再生状態表示
② プレイモード
③ スリープタイマーアイコン
④ ホールドアイコン
⑤ バッテリーインジケーター
⑥ 曲名（※ 1）
⑦ アーティスト名（※ 1）
⑧ アルバム名（※ 1）
⑨ 曲番号 / 総曲数（※ 2）
⑩ ビットレート
⑪ サウンドモード
⑫ ボリューム（音量）表示
⑬ 経過時間表示 / 残り時間表示
⑭ 音声圧縮フォーマット
⑮ 再生位置

※1　表示内容が長いときは、スクロール表示します。
※2　総曲数が 1000 曲以上の場合、「曲番号 /」（例：「1012/」）のように表示されます。このときの総曲数はストレージ情報（→ 79 ページ）で確認してください。

1-4. 充電する

初めて使うときや充電池が消耗したときは、本機を充電してください。
本機を充電するには、以下の 2 通りの方法があります。

① 別売りの AC アダプター（AA-R513）を使用して充電する

1. **付属の USB ケーブルで本機と AC アダプターを接続します。**

2. **AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。**

⇒本機の表示窓にバッテリーインジケーターが表示され、充電が始まります。

充電中は □→□→□→□という表示を繰り返します。

充電が完了すると□で表示が停止します。

本機の表示窓の実際の表示は白黒が反転しています。

お知らせ

- 充電池残量がない状態から充電したときの充電完了時間の目安は、約 3 時間です。充電時間は充電池残量や本機の使用状況により異なります。
- AC アダプターでの充電中は、音楽ファイルの転送以外の全ての機能（音楽再生、ボイス録音、ボイス再生、FM ラジオ受信など）が使用できます。
- 電池は約 400 回充電できます。
- 初めて充電するときや長時間使用しなかったときは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か充電と再生を繰り返すと正常に戻ります。
- 電源が入った状態で AC アダプターを抜き差しすると、電源が切れることがあります。

②パソコンに USB 接続して充電する

パソコンの電源を入れて、USB ケーブルで本機とパソコンの USB ポートを接続します（→ 29 ページ）。

⇒本機の表示窓にバッテリーインジケーターが表示され、充電が始まります。
充電中は □→□→□→□という表示を繰り返します。
充電が完了すると □ で表示が停止し、「充電完了」とメッセージが表示されます。
本機の表示窓の実際の表示は白黒が反転しています。

お知らせ

- ・デスクトップパソコンに接続して充電する場合は、パソコンが電源オンの状態（スタンバイ以外の状態）で充電してください。
- ・ノートパソコンに接続して充電する場合は、パソコンにACアダプターを接続して、パソコンが電源オンの状態で充電してください。
- ・**多くのノートパソコンは、お買い上げ時に省エネモードに設定されています。お使いのパソコンの電源設定によっては、充電中にパソコンをしばらく放置したり、ノートパソコンのモニターを閉めると、スタンバイ、休止モードになることがあります。**
このような場合も本機は充電されません。パソコンの電源設定を変更してください。パソコンのスタンバイ、休止モードについてはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・USB 接続での充電中は本機を操作することはできません。
- ・充電は周囲の温度が 5 ℃～ 35 ℃の所で行ってください。

内蔵充電池の取り扱いについての注意

- ・内蔵充電池の交換は販売店やビクターサービス窓口にご依頼ください（別紙「ビクターサービス窓口案内」参照）。目安として、フル充電後の再生可能時間が半減したら交換が必要です。
- ・長期間本機を使用しないときは、内蔵充電池の性能劣化を防ぐため、月に 1 回以上は充電してください。

バッテリーインジケーターについて

バッテリーインジケーターは電池の残量を示します。目盛りが少なくなるほど充電池残量が減っています。残量が少なくなると下記のように表示されます。その場合は充電してください。

電池容量不足

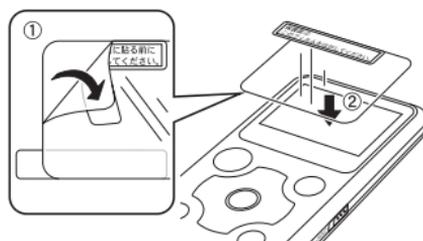
1-5. 付属品を取り付ける

ヘッドホンを取り付ける

ヘッドホンを端子に接続します。

保護シートを貼る

保護シートの接着面を表示窓に貼り付けてください。保護シートは、貼り直しが可能です。

1. 接着面のフィルムをはがし、表示窓に保護フィルムを貼り付けます。

※ フィルムをはがしたあとは、指紋や汚れがつかないよう、接着面をさわらないでください。

2. 保護面のフィルムをはがします。

シリコンケースを装着する

シリコンケースを本機に装着するときは、図のように装着してください。

第 2 章 基本操作

2-1. 電源を入れる

電源を入れる、電源を切る

● **電源を入れる**

オープニングアニメーション（"alneo"）が始まるまで ⏻ / ▷□ ボタンを押しつづけます。

● **電源を切る**

「終了します」が表示されるまで ⏻ / ▷□ ボタンを押しつづけます。

お知らせ

・「自動電源オフ」が設定されている場合、一定時間（お買い上げ時の設定：1分）操作を行わないと、本機の電源は自動で切れます。「自動電源オフ」の設定については、「設定」メニュー－「自動電源オフ」（→ 71 ページ）で設定してください。
・収録されたファイルが多いと起動するのに時間がかかります。
・動作状態によっては電源が切れないことがあります。ミュージックモードやメニュー画面で電源を切ってください。

ご注意

一度に大量の曲を転送したときやリセット（RESET）をしたときは、電源が入るまでに時間がかかることがあります。

2-2. 画面表示について

お買い上げ時は、20 秒間操作しないとバッテリーの消耗を防ぐため、スクリーンセーバーが働くように設定されています。

・スクリーンセーバー機能については 73 ページをご覧ください。
・この設定はメニュー－「設定」－「表示時間」で変更できます。（→ 72 ページ）20 秒 /30 秒 /40 秒 / 常時表示から選択できます。

2-3. メニューの使いかた

音楽ファイルの再生や、FM ラジオの受信など、本機で行う動作を切り替えるときに使用します。

メニュー画面について

1. 電源が入った状態で、MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。

2. ∧ / ∨ で操作するメニューを選択し、◯ボタンを押します。
⇒選択したメニュー項目の画面が表示されます。

※もう一度 MENU ボタンを押すと、メニュー画面にもどります。また、＜ を押すと 1 つ前の画面にもどります。

(次ページへつづく)

● メニュー画面で選択できる項目

メニュー項目	内容
音楽	音楽ファイルを再生します。（→ 38 ページ）
フォルダ	音楽ファイル、音声ファイル、プレイリストを収納したフォルダを表示します。フォルダからファイルを選択して再生できます。（→ 46 ページ）
ボイス再生	録音した音声ファイルを再生します。（→ 52 ページ）
FM ラジオ	FM ラジオを受信します。（→ 58 ページ）
ボイス録音	音声を録音できます。（→ 50 ページ）
設定	各種設定を行います。（→ 64 ページ）

● メニュー画面の基本操作

操作	ボタン
メニュー項目を選択する	∧ / ∨ を押す
選択したメニュー項目を決定する	○ ボタンまたは ＞ を押す
前の画面に戻る	＜ を押す
メニュー画面に戻る	MENU を押す

第３章 パソコンから音楽ファイルを転送する

3-1. ご使用になる前に

● ご使用になる前のお知らせ

* 本製品で記録したものを「私的な目的」以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
* 何らかの不具合により、正常に録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
* 大切なデータはパソコン等にバックアップを取っておくことをおすすめいたします。

● 音楽を聴くための準備

音楽を聴くためには、音楽ファイルの作成が必要です。
音楽ファイルの作成方法は、大きく分けて次の２通りあります。
いずれかの方法で、音楽ファイルを準備してください。

① お手持ちの CD などの曲をパソコン上に取り込み、本機へ転送する方法

転送方法については、「3-2. エクスプローラで音楽ファイルを転送する」(→ 29 ページ)、または同梱の『デジタルオーディオプレイヤークイックガイド』をご覧ください。

お知らせ

CD からパソコンへの音楽の取り込みかたについては、同梱の『デジタルオーディオプレイヤー クイックガイド』をご覧ください。

② 当社製マイクロコンポーネントシステム（UX-GM55/GM77/GM50/GM70）に取り込んだ曲を本機に転送する方法

転送方法についてはマイクロコンポーネントシステムの取扱説明書をご覧ください。

ビットレートの設定について

デジタルオーディオは取り込み時に信号を圧縮できるため、本機で多くの楽曲を収録することができます。

MP3/WMA	XA-M40 (4GB)	XA-M20 (2GB)	XA-M10 (1GB)
320kbps	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間
256kbps	約 32 時間	約 16 時間	約 7 時間
192kbps	約 42 時間	約 21 時間	約 10 時間
160kbps	約 52 時間	約 26 時間	約 12 時間
128kbps	約 64 時間	約 32 時間	約 16 時間
96kbps	約 86 時間	約 43 時間	約 20 時間
64kbps	約 130 時間	約 65 時間	約 31 時間
32kbps	約 260 時間	約 130 時間	約 64 時間
非圧縮（WAV）	約 6 時間	約 3 時間	約 1 時間

メモリー容量の一部をシステム領域に使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量より少なくなります。
ビットレートを高くすると高音質になりますが、データが大きくなるため収録曲数が減ります。
ビットレートを低くすると収録曲数は増えますが収録曲数が多くなりすぎると、電源の立ち上がりや選曲に時間がかかります。

- **音楽データの取り込みについて**

音楽 CD をパソコンに取り込むときは、パソコン上で各種の設定をします。くわしくは、同梱の『デジタルオーディオプレイヤー クイックガイド』をご覧ください。

パソコンに必要なシステム構成

対応 OS	Microsoft® Windows Vista® (Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate) Microsoft® Windows® XP (Home Edition/Professional)SP2 以降
CPU	Intel® Pentium® Ⅲ 350MHz 以上
メモリ	256MB 以上
HDD の空き容量	100MB 以上
ドライブ	CD-ROM ドライブ
ポート	USB ポート（USB 2.0/1.1）

ご注意

- パソコンによっては、上記の動作環境を満たしていても、本機が正常に動作しない場合があります。
- 64 ビット版 Windows パソコンには対応していません。

・Windows Media Player 11 以降のバージョンと、Windows XP/Vista 以降の OS については、弊社ホームページをご覧ください。
お問い合わせ・サポート 「製品 Q&A」
http://www.jvc-victor.co.jp/support/index.html
alneo style!
http://www.jvc-victor.co.jp/alneo/index.html
・本書では、Windows Vista、Windows Media Player 11 で説明します。

3-2. エクスプローラで音楽ファイルを転送する

Windows Media Player を使用せずに、ドラッグアンドドロップでMP3 や WMA 形式の音楽ファイルをパソコンから本機へ転送します。

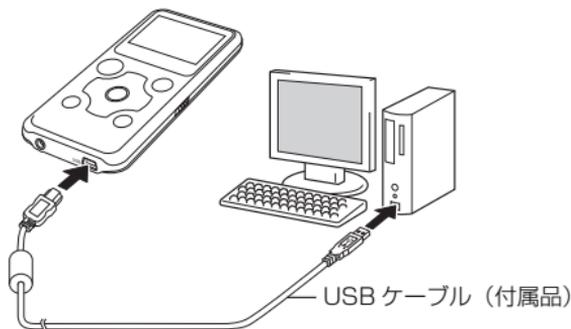
お知らせ

・ファイルの再生順序を指定したい場合は、あらかじめパソコンのエクスプローラ上でファイル名の先頭に「01、02、・・・」と再生順序を示す数字をつけてから、本機に転送してください。
・本機を操作して再生順序を変更することはできません。
・WMA-DRM などの著作権保護付ファイル（楽曲サイトからダウンロードしたファイルなど）を転送する場合は、Windows Media Player を利用して転送してください。転送方法については、同梱の『デジタルオーディオプレイヤー クイックガイド』をご覧ください。
・ドラッグアンドドロップで転送したWMA-DRMファイルを再生しようとすると、本機の表示窓に「ライセンスが無効です」と表示され、再生できません。
・本機の表示窓に「データ転送中」と表示されている間は、USB ケーブルを抜かないでください。
・USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は、保証しません。
・USB ドライバーなどのインストールは必要ありません。

1. 本機の電源を切ります。

（⏻ / ▷□ ボタンを押し続ける。）

(次ページへつづく)

2. 本機をパソコンの USB 端子に接続します（USB2.0/1.1 対応）。

⇒本機の表示窓に下の画面が表示されます。

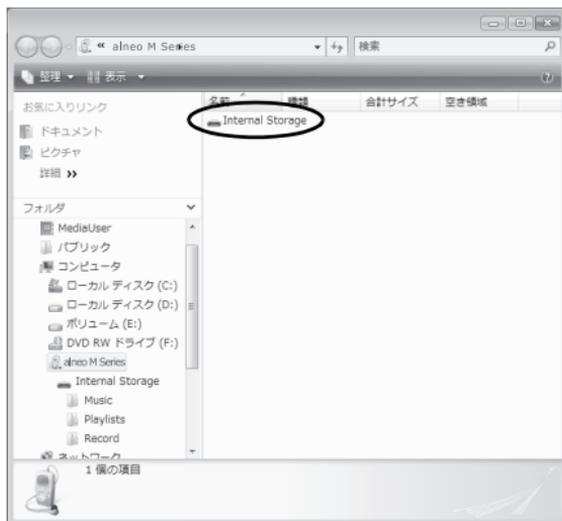
⇒パソコンの画面に alneo M Series（本機）の「自動再生」画面が表示されるので、「デバイスを開いてファイルを表示する」を選択します。

⇒本機に保存されているファイルが表示されます

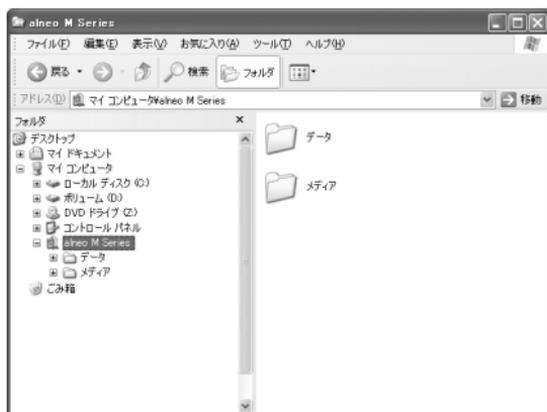
● Windows XP をお使いの場合

パソコン画面に「MTP Media Player（MTP メディアプレーヤー）」画面が表示されるので、「キャンセル」をクリックして画面を閉じます。画面を閉じてからパソコンの「スタート」ボタンを右クリックし、「エクスプローラ」をクリックします。
⇒エクスプローラが起動します。

(次ページへつづく)

3.「Internal Storage」をダブルクリックして開きます。

⇒「Internal Storage」画面が表示されます。

- **Windows XP をお使いの場合**

「alneo M Series」を選択し、「メディア」フォルダをダブルクリックして開きます。

4. 「Music」フォルダをダブルクリックして開きます。

5. エクスプローラを起動し、転送したい音楽ファイルまたは音楽ファイルを含むフォルダを表示させます。

お知らせ

エクスプローラは「スタート」ボタンを右クリックし、「エクスプローラ」をクリックすると起動できます。

(次ページへつづく)

6. 転送したい音楽ファイルまたは音楽ファイルを含むフォルダを「Music」フォルダ内にドラッグアンドドロップします。

⇒ ファイルの転送中は本機の表示窓に「データ転送中」と表示されます。

7. **転送の終了を確認してから、USB ケーブルを抜きます。**

ご注意

「データ転送中」と表示されているときは USB ケーブルを抜かないでください。

お知らせ

・再生される曲の順序は本機のメニュー画面から「フォルダ」を選択して確認できます。
フォルダについては、「5-1. フォルダを再生する」（→ 46 ページ）をご覧ください。
・CD からパソコンに曲を取り込むときに自動的にファイル名の先頭に「01」、「02」と数字をつけることができます。くわしくは、同梱の『デジタルオーディオプレイヤー クイックガイド』の「CD からパソコンに音楽を取り込むには」をご参照ください。

第４章 音楽を聴く

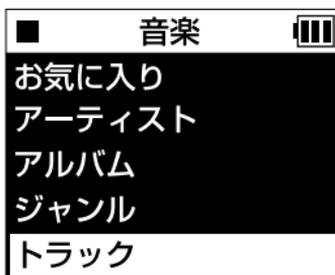
4-1. 音楽ファイルを再生する

アーティスト名やアルバム名などから聴きたい曲を選んで再生できます。

1. 電源が入った状態で、MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。

2. ∧ / ∨ ボタンで「音楽」を選択し、◯（確定）ボタンを押します。

3. ∧ / ∨ で聴きたいリストを選択し、◯ ボタンを押します。

例：トラック

※ トラック以外のリストを選択した場合、必要に応じて手順 3 を繰り返します。

- **選択できるリスト**

リスト名	説明
お気に入り	お気に入りに登録した曲のリストを表示します。(→ 43 ページ)
アーティスト	アーティスト名のリストを表示します。
アルバム	アルバム名のリストを表示します。
ジャンル	ジャンル名のリストを表示します。
トラック	本機に転送されたすべての曲を表示します。

4. ∧ / ∨ で再生したい曲を選択し、◯ボタンを押します。

- **再生画面**

(次ページへつづく)

● 再生の基本操作

操作	ボタン
曲を再生する	▷□ ボタンを押す
停止する	再生中に ▷□ ボタンを押す
ボリューム（音量）を上げる / 下げる（調節範囲：0 ～ 30）	上げる：∧ を押す 下げる：∨ を押す
今聴いている曲の頭に戻る	< を 1 回押す
前の曲にスキップする	< を 2 回押す
次の曲にスキップする	> を 1 回押す
早戻しする	< を押し続ける
早送りする	> を押し続ける
経過時間表示 / 残り時間表示を切り替える	○ ボタンを押す

お知らせ

- ドラッグ＆ドロップ転送されたWMA-DRMファイルは再生されずに次の曲にスキップします。WMA-DRM ファイルは、Windows Media Player を使って転送してください。
- 再生画面には、ID3 タグ、WMA タグの情報が表示されます。ID3 タグ、WMA タグとは MP3、WMA ファイルに記録される、曲名・アーティスト名などのデータのことです。
- 本機上の操作では音楽ファイルの削除はできません。音楽ファイルを削除する場合は、パソコンを使って削除してください。削除方法に関しては「9-1. ファイル・フォルダを削除する」（→ 82 ページ）または同梱の『デジタルオーディオプレーヤークイックガイド』をご覧ください。

4-2. 曲に合わせたサウンド効果で再生する

6 種類のサウンドモードのなかからお好みのサウンドモードを１つ選択できます。

サウンドモードを切り替える

1. 再生画面（→ 39 ページ）で SOUND ボタンを押します。

サウンドモードの表示が切り替わり、サウンド効果が変更されます。

※ SOUND ボタンを押すたびに、サウンドモードが切り替わります。

● **サウンドモードの種類**

ディスプレイ表示	種類	説明
NORM	ノーマル	サウンドモードの効果はありません。
HEAVY	ヘビー	パワフルな音質効果になります。
POP	ポップ	明るい音質効果になります。
SOFT	ソフト	落ち着いた音質効果になります。
VOCAL	ボーカル	ボーカルやナレーションが聞きやすくなります。
BASS	バス	低音域が強調されます。

4-3. お気に入りの曲を登録して聴く

よく聞く曲を 100 曲まで「お気に入り」として登録できます。

お気に入りに曲を登録する

1. 登録したい音楽ファイルを再生します。（「4-1. 音楽ファイルを再生する」→ 38 ページ、「5-1. フォルダを再生する」→ 46 ページ）

2. FAVORITE ボタンを押しつづけます。

⇒「登録しました」とメッセージが表示され、「お気に入り」に登録されます。

お知らせ

再生画面に表示されている音楽ファイルが停止した状態で FAVORITE ボタンを押しつづけても「お気に入り」に登録できます。

お気に入りの曲を再生する

1. 電源が入った状態で、FAVORITE ボタンを押します。

⇒お気に入り画面が表示されます。

2. ∧ / ∨ で再生したい音楽ファイルを選択し、○ボタンを押します。

⇒再生が始まります。

※「メニュー」-「音楽」-「お気に入り」から選択することもできます。

お気に入りから曲を削除する

1. 電源が入った状態で、FAVORITE ボタンを押します。

⇒お気に入り画面が表示されます。

2. ∧ または ∨ で削除したい音楽ファイルを選択し、FAVORITE ボタンを押しつづけます。

⇒「削除しました」とメッセージが表示され、選択した曲が削除されます。

お知らせ

「お気に入り」から曲を削除しても、本機から曲が削除されるわけではありません。

第５章 フォルダを選んで再生する

5-1. フォルダを再生する

音楽ファイル、プレイリスト、音声ファイルが保存されているフォルダを選択して再生できます。

● **選択できるフォルダ**

フォルダ名	内容
Music	本機に転送した音楽ファイルが保存されています。
Playlists	本機に転送したプレイリストが保存されています。（プレイリストは Windows Media Player で作成してください。）
Record	本機で録音した音声ファイルが保存されています。

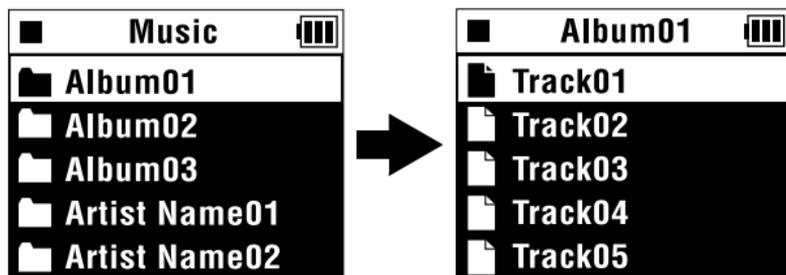
例：Music フォルダに保存されている音楽ファイルを再生するとき

1. 電源が入った状態で、MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。

2. ∧ / ∨ で「フォルダ」を選択し、○ボタンを押します。

3. ∧ / ∨ で「Music」フォルダを選択し、◯ボタンを押します。

⇒「Music」フォルダの内容がリスト表示されます。

さらにフォルダが表示された場合は、∧ / ∨ でフォルダを選択し、◯ボタンを押します。音楽ファイルのリストが表示されるまでこの手順をくり返します。

4. ◯ボタンを押します。

⇒表示されたリストの順にフォルダ内の音楽ファイルが再生されます。

第 6 章 音声を録音 / 再生する

6-1. 音声を録音する

内蔵マイクを使って音声を録音できます。

1. **電源が入った状態で、MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。**

2. **∧ / ∨ で「ボイス録音」を選択し、◯ボタンを押します。**

⇒スタンバイ画面が表示されます。（まだ録音は始まっていません。）

3. **本体側面の REC ボタンを押します。**

⇒録音が始まります。

録音された音声ファイルは WAV ファイル（モノラル）として自動的に「Record」フォルダに保存されます。
ファイル名は、録音した順番に「V00001.WAV」、「V00002.WAV」、「V00003.WAV」、…となります。

● ボイス録音画面での基本操作

操作	ボタン
録音を開始する	REC ボタンを押す
録音を終了する	録音中に REC ボタンを押す
録音を一時停止する	録音中に ▷□ ボタンを押す もう 1 回 ▷□ ボタンを押すと再開します。
経過時間表示 / 残り時間表示を切り替える	○ボタンを押す

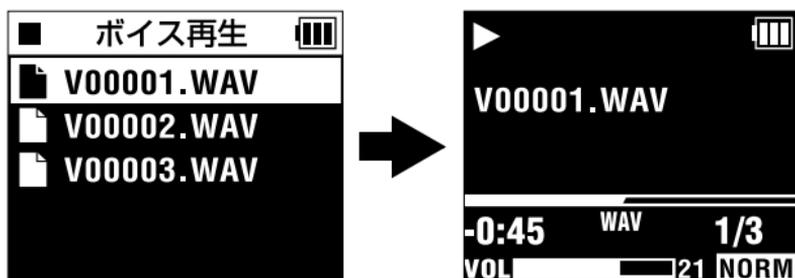
お知らせ

・次のような場合、録音や再生操作がうまくできないことがあります。
　・本機に保存されているファイル数が 2000 ファイル（音声ファイルと音楽ファイルの合計）を超えている場合
　・本機のメモリ残容量が少ない場合
　このような場合は、不要なファイルを削除する（→ 82 ページ）か、パソコンにファイルを移動して、メモリの空き容量を確保してください。
・マイク感度が高いため、本機に直接口を近づけて大きな声で録音すると、音がひずむことがあります。このような場合は、声を小さめにするか少し口から離して録音してください。
・録音された音声ファイルは、USB 接続してパソコンにコピーすることができます。（→ 53 ページ）
・電源がはいっているときに、REC ボタンを押しつづけると、いつでもボイス録音待機画面（手順３のスタンバイ画面）に入ることができます。

6-2. 録音した音声ファイルを再生する

1. 電源が入った状態で、MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。

2. ∧ / ∨ で「ボイス再生」を選択し、◯ボタンを押します。

3. ∧ / ∨ で再生したい音声ファイルを選択し、◯ボタンを押します。

⇒再生が始まります。

● **ボイス再生画面での基本操作**

ボイス再生画面での基本操作は、音楽ファイルの再生画面と同じです。(→ 40 ページ)

6-3. 音声ファイルをパソコンにコピーする

本機に保存された音声ファイルは USB 接続してパソコンにコピーできます。

1. 本機とパソコンを接続します。
(接続のしかたは、29 ページをご覧ください。)

2. パソコンの画面に表示される「自動再生」画面で「デバイスを開いてファイルを表示する」を選択します。

● **Windows XP をお使いの場合**

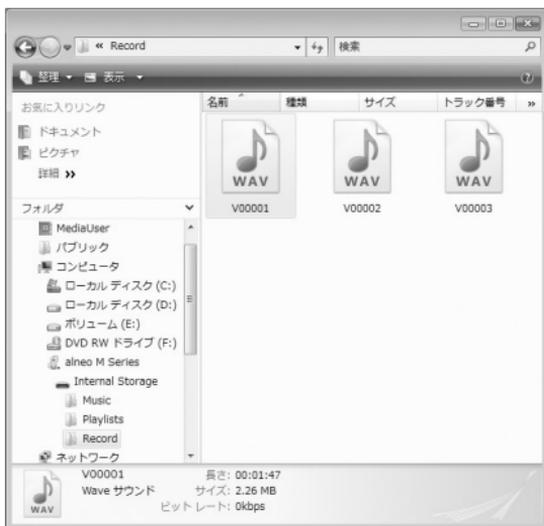
「MTP Media Player（MTP メディアプレーヤー)」画面が表示されるので、「キャンセル」をクリックして画面を閉じます。画面を閉じてからパソコンの「スタート」ボタンを右クリックし、「エクスプローラ」をクリックします。

3.「Internal　Strage」-「Record」の順にダブルクリックして開き、音声ファイルを表示します。
(詳しくは 32 ページの「エクスプローラで音楽ファイルを転送する」手順 3 をご覧ください。)

● **Windows XP をお使いの場合**

「alneo M Series」-「メディア」-「Record」の順に選択し、音声ファイルを表示します。

(次ページへつづく)

4. コピーしたい音声ファイルをパソコンの任意の場所（デスクトップなど）へドラッグ＆ドロップします。

⇒ファイルの転送中は本機の表示窓に「データ転送中」と表示されます。

5. 転送の終了を確認してから、USB ケーブルを抜きます。

ご注意

「データ転送中」と表示されているときは、USB ケーブルを抜かないでください。

6-4. 音声ファイルを削除する

不要になった音声ファイルを削除できます。

ご注意

削除したファイルは元に戻せません。
よく確かめたうえで削除してください。

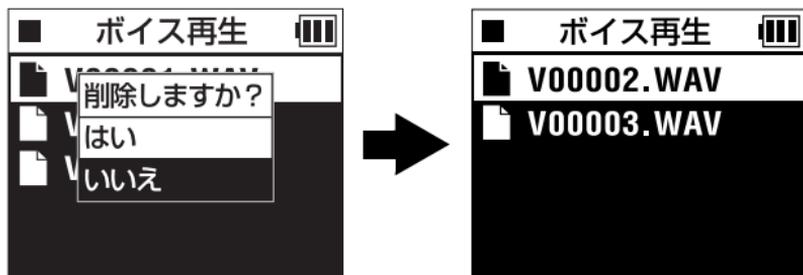
1. **電源が入った状態で、MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。**

2. **∧ / ∨ で「ボイス再生」を選択し、◯ボタンを押します。**

3. **∧ / ∨ で削除したい音声ファイルを選択し、◯ボタンを押しつづけます。**

⇒確認メッセージが表示されます。

(次ページへつづく)

4. ∧ / ∨ で「はい」を選択し、◯ボタンを押します。

⇒音声ファイルが削除されます。

第 7 章 FM ラジオを聴く

7-1. FM ラジオを受信する

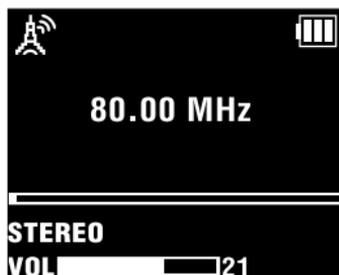
お知らせ

本機では、ヘッドホンコードが FM ラジオの受信アンテナとなっています。ヘッドホンコードを本機に巻き付けたり、コードが絡んだ状態のときは、ラジオを受信しにくくなる場合があります。できるだけコードをのばした状態でお使いください。

1. **電源が入った状態で、MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。**

2. **∧ / ∨ で「FM ラジオ」を選択し、◯ ボタンを押します。**

3. **＜ / ＞ で放送局を選択します。**

● FM ラジオ画面

● FM ラジオの基本操作

操作	ボタン
周波数を上げる	> を押します。 （押すごとに 0.05MHz ずつ周波数が上がります。）
周波数を下げる	< を押します。 （押すごとに 0.05MHz ずつ周波数が下がります。）
受信できる放送局を探す	< / > を押しつづけます。 （受信できる放送局まで進んで止まります。）
サブメニューを表示する	ボタンを押しつづけます。 FM ラジオ機能で使用できる「F M 設定」メニューを表示できます。（→ 60 ～ 62 ページ）

お知らせ

・本機は、テレビ1ch：95.75MHz、2ch：101.75MHz、3ch：107.75MHz の音声を受信することができます。
・地上アナログ放送は 2011 年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。
地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
・FM ラジオを録音することはできません。

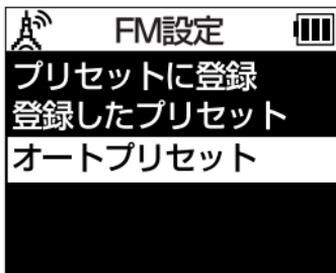
7-2. 放送局を登録する

最大 20 局まで放送局を登録することができます。

自動で放送局を登録する

1. FM ラジオ画面（→ 59 ページ）で ボタンを押しつづけます。

⇒ FM 設定メニューが表示されます。

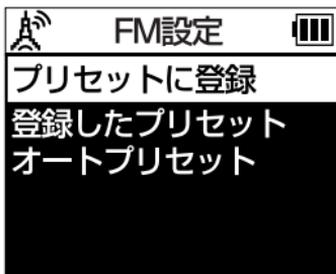
2. ∧ / ∨ で「オートプリセット」を選択し、 ボタンを押します。

⇒ 選局が始まり、受信できる放送局が低い周波数から順番に登録されます。

手動で放送局を登録する

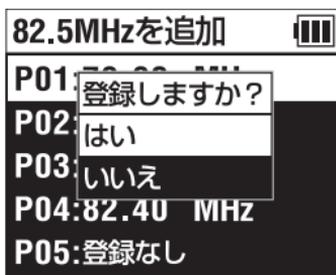
1. FM ラジオ画面（→ 59 ページ）で ＜ / ＞ を押し、登録したい周波数を選びます。

2. ボタンを押しつづけます。

⇒ FM 設定メニューが表示されます。

3. ∧ / ∨ で「プリセットに登録」を選択し、 ボタンを押します。

4. ∧ / ∨ で登録したいプリセット番号を選択し、○ボタンを押します。

⇒確認メッセージが表示されます。

5. ∧ / ∨ で「はい」を選択し、○ボタンを押します。

⇒選択したプリセット番号に登録したい放送局が登録されます。

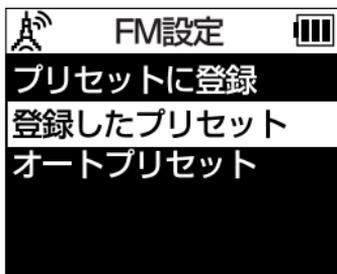
ご注意

オートプリセットを行うと、それまでに登録した放送局はすべて消え、オートプリセットで受信した放送局が上書き登録されます。

登録した放送局を呼び出す

1. **FM ラジオ画面（→ 59 ページ）で ◯ ボタンを押しつづけます。**

⇒ FM 設定メニューが表示されます。

2. **∧ / ∨ で「登録したプリセット」を選択し、◯ ボタンを押します。**

3. **∧ / ∨ 受信したい放送局のプリセット番号を選択し、◯ ボタンを押します。**

⇒選択した放送局のラジオ放送を受信します。

第 8 章 設定を変更する

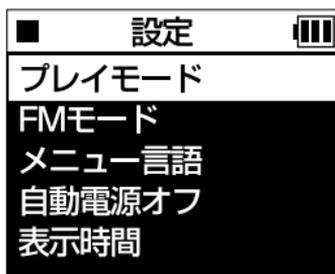
8-1. 設定画面について

本機の様々な機能を設定できます。

設定画面の表示方法

1. 電源が入った状態で、MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示させます。

2. ∧ / ∨ で「設定」を選択し、○ボタンを押します。

⇒設定画面が表示されます。

● **設定できる項目**

設定項目	設定内容
プレイモード	リピート再生やランダム再生など、ファイル再生方法の設定ができます。(→ 66 ページ) 自動再生：電源を入れたときに自動で再生をするかどうかを設定できます。(→ 68 ページ)
FM モード	FM ラジオの音声（オート / モノラル）を切り替えます。(→ 69 ページ)
メニュー言語	メニュー表示言語（日本語 /English）を切り替えます。(ファイル情報の表示言語は変わりません。)(→ 70 ページ)
自動電源オフ	ファイル再生をしないで、ボタン操作をしなかった場合、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。(→ 71 ページ)

設定項目	設定内容
表示時間	ボタン操作をしない場合に、画面表示を消灯するまでの時間を設定できます。（→ 72 ページ）
スクリーンセーバー	ボタン操作をしない場合に、画面の焼きつきを防止するスクリーンセーバーを起動させるかどうかを設定できます。（→ 73 ページ）
スリープ時間	自動的に本体の電源がオフになるまでの時間を設定できます。（→ 74 ページ）
システム	ビープ音の設定や本機のメモリに関する設定が変更できます。 ビープ音：操作時にビープ音を鳴らすかどうかを設定できます。（→ 75 ページ） フォーマット：本機のデータを全て削除できます。（→ 76 ページ） 製品情報：ファームウエアのバージョンやメモリの残量をチェックできます。（→ 78 ページ）
リセット	設定メニューで設定した項目を、すべてお買い上げ時の状態に戻せます。（→ 80 ページ）

各設定のしかたについては、それぞれの説明ページをご覧ください。

- **設定画面の基本操作**

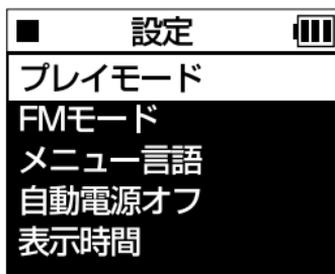
操作	ボタン
設定項目を選択する	∧ / ∨ を押す
決定する	○ ボタンまたは、＞ を押す
前の画面に戻る	＜ を押す
メニュー画面に戻る	MENU を押す

8-2. プレイモードの設定をする

音楽ファイルの再生に関する設定ができます。

音楽ファイルの再生方法を設定する

リピート再生やランダム再生をすることができます。

1. 設定画面（→ 64 ページ）で「プレイモード」を選択し、決定します。

2.「プレイモード」を選択し、決定します。

⇒プレイモード一覧が表示されます。

3. プレイモードの種類（→ 67 ページ）を選択し、決定します。

⇒プレイモードが設定され、プレイモード画面に戻ります。

4. MENU ボタンを押してメニュー画面に戻ります。

● プレイモードの種類

モード	ディスプレイ表示	内容
オフ	（表示なし）	選んだ曲の後に続く全ての曲を順に1 回再生します。
1 曲	ONE	1 曲を繰り返し再生します。
すべて	ALL	現在選択中のアーティスト / アルバム / ジャンルなどに含まれるすべての曲をくり返し再生します。
ランダム	RND	現在選択中のアーティスト / アルバム / ジャンルなどに含まれるすべての曲を順不同に再生します。
A-B	A-B	再生中のファイルの、指定した開始位置（A 点）から終了位置（B 点）までを繰り返し再生します。 A 点 B 点を指定する前は表示窓に A が点滅します。 ボタンを押して A 点を指定すると点滅が停止し、新たに -B が点滅します。 次に ボタンを押して B 点を指定すると点滅が停止し A-B の表示となります。

お知らせ

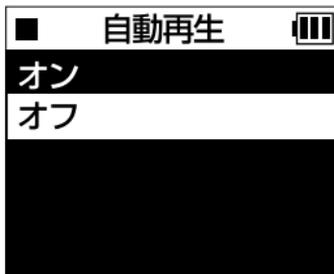
・2 曲間で「A-B リピート」することはできません。
・リピート再生、ランダム再生を解除するには、66 ページの手順３で「オフ」を選んで決定してください。

自動再生の設定をする

本機に電源を入れたときに、自動的にファイルを再生するかどうかを設定できます。

1. **設定画面で（→ 64 ページ）「プレイモード」を選択し、決定します。**

2. **「自動再生」を選択し、決定します。**

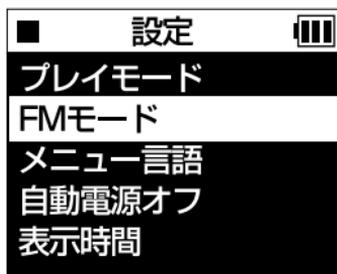
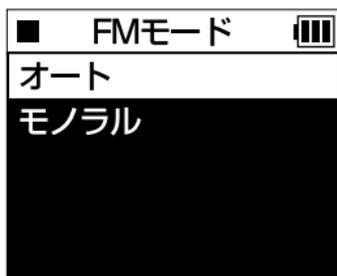
3. **自動再生の設定を選択し、決定します。**

⇒自動再生が設定され、プレイモード画面に戻ります。

4. MENU **ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。**

8-3. FM モードの設定をする

FM ステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、FM モードを「モノラル」に設定すると聴きやすくなることがあります。（このとき、ディスプレイに「MONO」と表示されます。）
「オート」を選択した場合は放送の受信状態によってステレオとモノラルが自動で切り替わります。
お買い上げ時は「オート」に設定されています。

FM モードの設定をするには

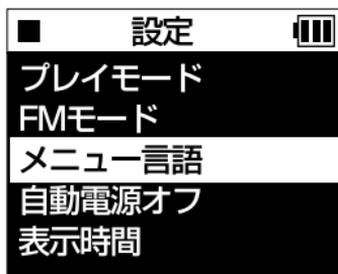
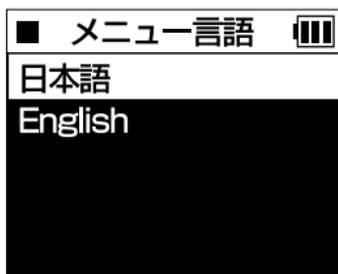
1. 設定画面（→ 64 ページ）で「FM モード」を選択し、決定します。

2. FM モードの設定を選択し、決定します。

⇒ FM モードが設定され、設定画面に戻ります。

3. MENU ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。

8-4. メニューの表示言語を設定する

メニュー表示で使われる言語を設定します。メニューは 2 言語から選択できます。お買い上げ時は「日本語」に設定されています。

メニュー言語を設定するには

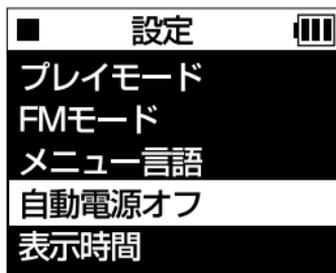
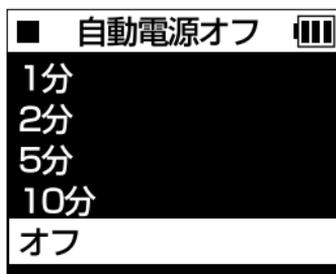
1. **設定画面（→ 64 ページ）で「メニュー言語」を選択し、決定します。**

2. **表示言語の種類を選択し、決定します。**

⇒言語が設定され、設定画面に戻ります。

3. MENU **ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。**

8-5. 自動電源オフの設定をする

停止時間が一定以上続くと、本機の電源を自動的に切ることができます。設定時間は 1 分 /2 分 /5 分 /10 分 / オフです。お買い上げ時は「1 分」に設定されています。

自動電源オフを設定するには

1. 設定画面（→ 64 ページ）で「自動電源オフ」を選択し、決定します。

2. 設定する時間を選択し、決定します。

⇒自動電源オフが設定され、設定画面に戻ります。

3. MENU ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。

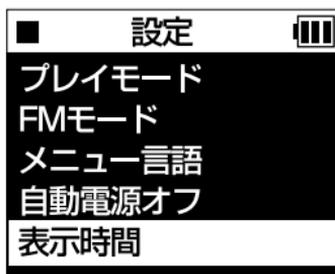
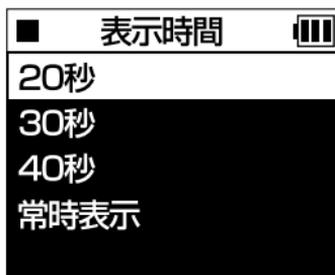
お知らせ

ボイス録音中は、自動電源オフ機能は動作しません。

8-6. 表示時間の設定をする

バッテリーの消耗を防ぐため、本機を操作しないまま設定した時間が経過すると画面表示が消えるように設定できます。設定できる時間は 20 秒 /30 秒 /40 秒 / 常時表示です。お買い上げ時は「20 秒」に設定されています。

表示時間を設定するには

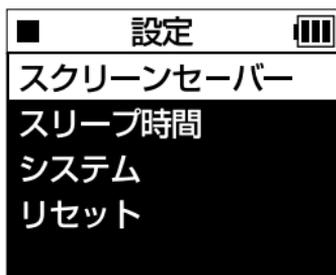
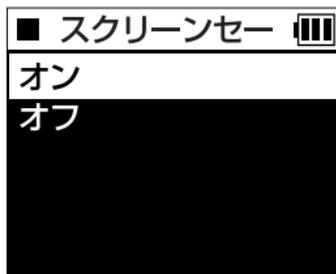
1. 設定画面（→ 64 ページ）で「表示時間」を選択し、決定します。

2. 設定する時間を選択し、決定します。

⇒表示時間が設定され、設定画面に戻ります。

3. MENU ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。

8-7. スクリーンセーバーの設定をする

「表示時間」（→ 72 ページ）で設定した時間以上無操作状態が続くと、alneo ロゴが点滅するスクリーンセーバーが起動します。(再生中でも起動します。) お買い上げ時は「オン」に設定されています。

スクリーンセーバーを設定するには

1. 設定画面（→ 64 ページ）で「スクリーンセーバー」を選択し、決定します。

2. スクリーンセーバーの設定を選択し、決定します。

⇒スクリーンセーバーが設定され、設定画面に戻ります。

3. MENU ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。

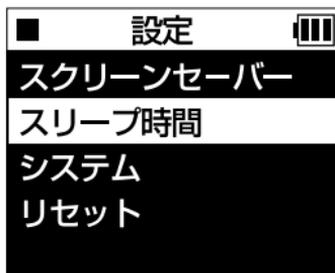
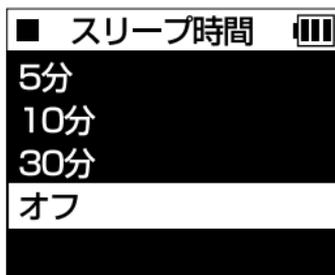
お知らせ

「表示時間」が「常時表示」に設定されていると、スクリーンセーバーは働きません。

8-8. スリープ時間の設定をする

スリープタイマーで設定した時間が経過すると、本機の電源が自動的に切れます。設定時間は 5 分 /10 分 /30 分 / オフです。お買い上げ時は「オフ」に設定されています。

スリープタイマーを設定するには

1. 設定画面（→ 64 ページ）で「スリープ時間」を選択し、決定します。

2. 設定する時間を選択し、決定します。

⇒スリープ時間が設定され、設定画面に戻ります。

3. MENU ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。

お知らせ

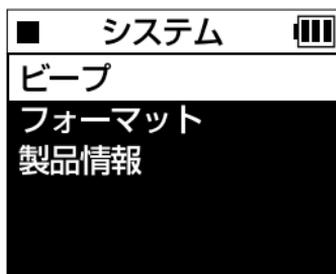
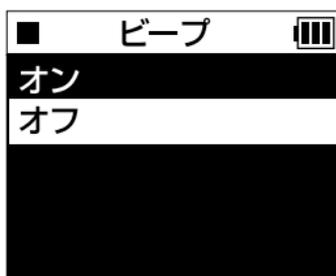
・スリープタイマー設定は、1 回動作するとキャンセルされます。
・スリープタイマーが有効になっているときは、ディスプレイ上に SLEEP アイコン（SLEEP）が表示されます。

8-9. ビープ音を設定する

操作確認音を設定します。お買い上げ時の設定は「オフ」です。

ビープ音を設定するには

1. **設定画面（→ 64 ページ）で「システム」を選択し、決定します。**

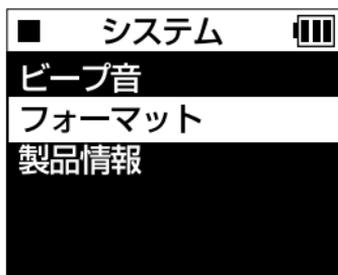
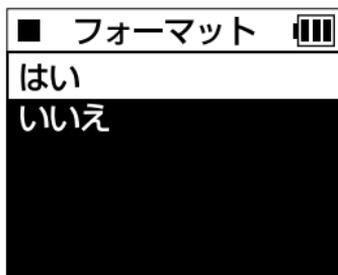
2. **「ビープ」を選択し、決定します。**

3. **ビープ音の設定を選択し、決定します。**

⇒ビープ音が設定され、システム画面に戻ります。

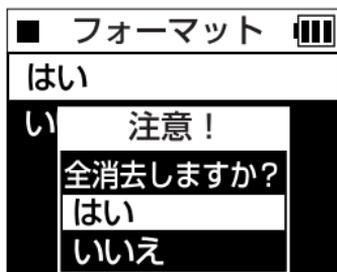
4. MENU **ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。**

8-10.本機を初期化する

本機のメモリを初期化（フォーマット）します。初期化すると、記録された音楽ファイルなどはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

1. **設定画面（→ 64 ページ）で「システム」を選択し、決定します。**

2. **「フォーマット」を選択し、決定します。**

3. **「はい」を選択し、決定します。**

⇒確認メッセージが表示されます。

4.「はい」を選択し、決定します。

⇒データがフォーマットされ起動画面に戻ります。

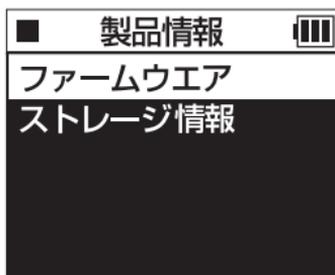
8-11.製品情報を確認する

本機のファームウエアバージョンとステータスを表示します。

ファームウエアのバージョン情報を確認する

1. 設定画面（→ 64 ページ）で「システム」を選択し、決定します。

2.「製品情報」を選択し、決定します。

3.「ファームウエア」を選択し、決定します。

⇒ファームウエアのバージョン情報が表示されます。

4. MENU ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。

● **ファームウエアのバージョンアップ**

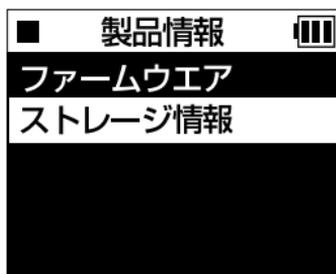
本機のファームウエアのバージョンアップ情報についてはビクターホームページをご覧ください。
http://www.victor.co.jp/ の「ダウンロード」から入ってください。

メモリの使用状況を確認する

本機に保存されている総トラック数やメモリの総容量 / 空き容量を確認します。

1. **設定画面（→ 64 ページ）で「システム」を選択し、決定します。**

2. **「製品情報」を選択し、決定します。**

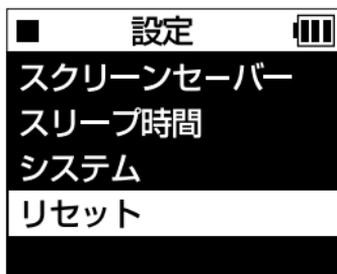
3. **「ストレージ情報」を選択し、決定します。**

⇒総容量、空き容量、全楽曲数が表示されます。

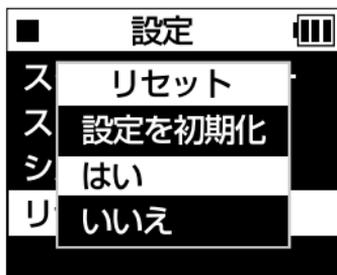
4. MENU **ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。**

8-12.設定値を初期化する

設定画面（「第 8 章 設定を変更する」（→ 63 ページ～ 80 ページ）で設定したすべての内容を初期化します。（音楽ファイル、音声ファイル、お気に入り登録の内容は消えません。）

設定を初期化するには

1. 設定画面（→ 64 ページ）で「リセット」を選択し、決定します。

⇒確認メッセージが表示されます。

2. ∧ / ∨ で、「はい」を選択し、決定します。

⇒設定メニューで設定したすべての内容が、お買い上げ時の状態になります。

3. MENU ボタンを押して、メニュー画面に戻ります。

第９章 さまざまな機能

9-1. ファイル・フォルダを削除する

本機に保存されている音楽ファイル、音声ファイル、プレイリストは、パソコンを使って削除できます。
Windows Media Player を使ってファイルやフォルダを削除することもできます。これについては、同梱の『デジタルオーディオプレイヤー クイックガイド』をご覧ください。

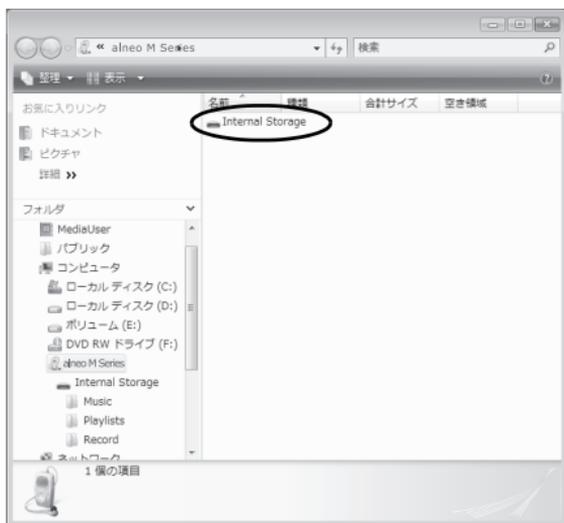
パソコンでファイルを削除する

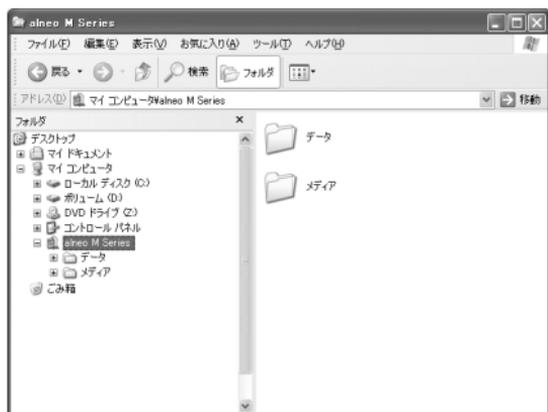
1. 本機とパソコンを接続します。
（接続のしかたは、29 ページをご覧ください。）

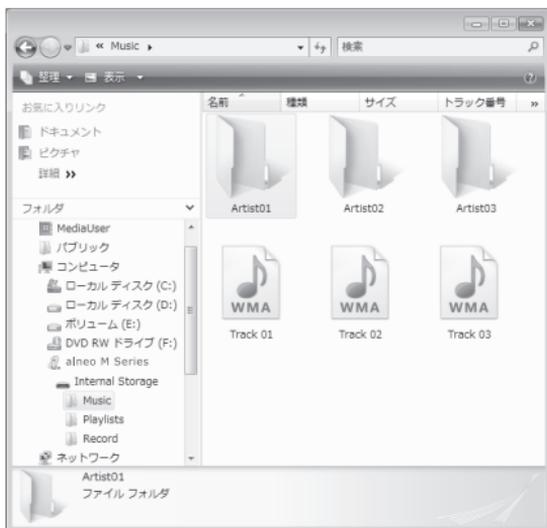
2. パソコンの画面に「自動再生」画面が表示されるので、「デバイスを開いてファイルを表示する」を選択します。
⇒本機に保存されているファイルが表示されます

● **Windows XP をお使いの場合**

パソコン画面に「MTP Media Player（MTP メディアプレーヤー）」画面（→ 31 ページ）が表示されるので、「キャンセル」をクリックして「MTP Media Player」画面を閉じます。
パソコンの「スタート」ボタンを右クリックし、「エクスプローラ」をクリックします。
⇒エクスプローラが起動します。

3.「Internal Storage」－「music」の順にダブルクリックして開き、音楽ファイルを表示します。

● **Windows XP をお使いの場合**

「alneo M Series」－「メディア」－「Music」の順にダブルクリックして開き、音楽ファイルを表示させます。

(次ページへつづく)

4. 削除したいファイルまたはフォルダを選択して、「Delete」キーを押します。

⇒「ファイル削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。

5. 「はい」をクリックします。

⇒選択したファイルまたはフォルダが削除されます。データの削除中は本機の表示窓に「データ転送中」と表示されます

6. データの削除が終了するのを確認してから、USBケーブルを抜きます。

ご注意

「データ転送中」と表示されているときは、USB ケーブルを抜かないでください。

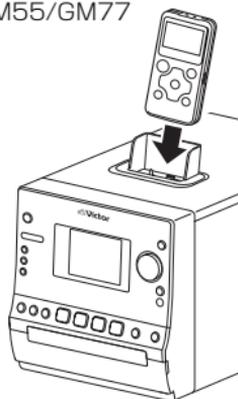
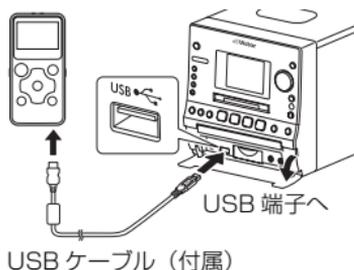
9-2. オーディオ機器と接続する

■ 当社製マイクロコンポーネントシステム UX-GM55/GM77/GM50/GM70（以下、「UX-GM シリーズ」）と本機を USB 接続して、本機のファイル（WMA-DRM ファイルを除く）を UX-GM シリーズで再生することができます。

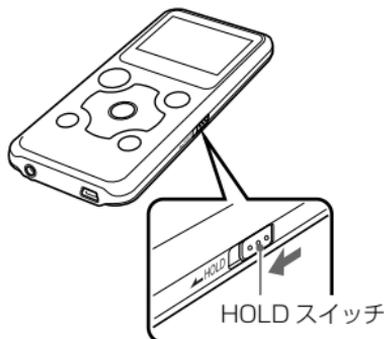
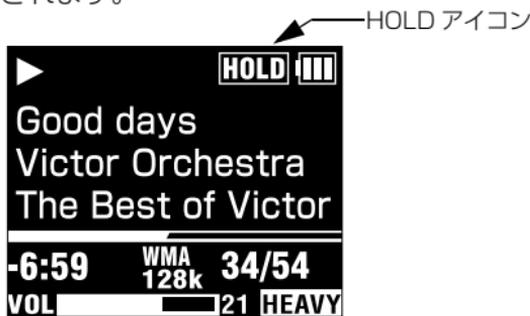
■ 本機の音楽ファイルを UX-GM シリーズのメモリに転送（移動）できます。

UX-GM シリーズから音楽ファイルを本機に転送（移動）することもできます。

- 本機の著作権保護付 (WMA-DRM) ファイルは転送（移動）できません。
- UX-GM シリーズから本機に音楽ファイルを転送（移動）した場合は、UX-GM シリーズで管理されているファイル名で本機に転送（移動）されます。

UX-GM シリーズと本機の接続について、詳しくは、UX-GM シリーズの取扱説明書をお読みください。

9-3. ボタンをロックする

HOLD 機能によりすべての操作ボタンをロックすることができます。

1. **本機側面の HOLD スイッチを矢印の方向にスライドします。**

⇒すべての操作ボタンがロックされ、ディスプレイ右上に HOLD アイコンが表示されます。

2. **ロックを解除するときは、HOLD スイッチを右にスライドします。**

お知らせ

・ロックした状態で本機を操作すると、「HOLD」が点滅します。

・ロックした状態で本機の電源を入れようとすると、「HOLD・・・」が表示され、電源が入りません。

第 10 章　お問い合わせ・アフターサービス

10-1. 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。

1. 本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べます。また、別紙の『知っておいてほしいこと』にも、さまざまな情報があります。該当する項目を調べてください。

2. ビクターホームページの製品 Q&A で調べる

http://www.victor.co.jp/ の「製品 Q&A」から入ってください。最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

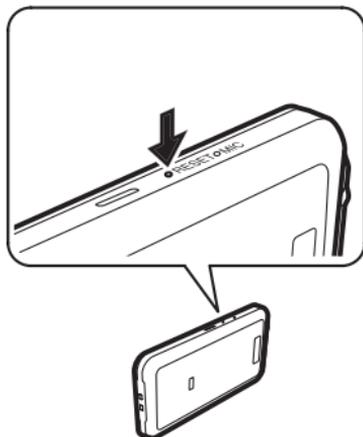
3. それでもトラブルが解決しないときは

お客様ご相談センター (→ 裏表紙) またはお買い上げ店にご相談ください。

こんなときは	次の点を確認してください
動作しない	・HOLD スイッチは OFF になっていますか。(→ 86 ページ) ・充電はしてありますか？(→17ページ)
音が出ない（雑音が多い）	・ヘッドホンが本機に確実に差し込まれていますか。 ・ヘッドホンのプラグが汚れていませんか。 ・携帯電話やテレビなどの装置から離れた場所でお使いください。 ・音量を上げてください。
自動的に電源が切れる	・自動電源オフ機能が設定されています。(→ 71 ページ)（故障ではありません。）

こんなときは	次の点を確認してください
転送後、曲順がばらばらになってしまう	・音楽ファイルの先頭に半角入力で01、02 ･･･などと数字をつけると並び替えができます。（→ 29 ページ）
仕様どおりの曲数が入らない	・音楽ファイルの形式やビットレート、曲の長さにより収録可能曲数は大きく変わります。
CD からパソコンに音楽を取り込んだが、アルバムタイトルやアーティスト名が表示されない	・インターネットに正しく接続されていますか。 ・CD によっては、アルバム情報が表示されないことがあります。

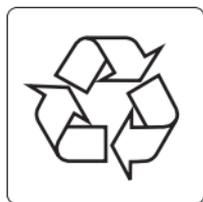
● **本機が動作しなくなったときは**

先の細いもの（ピンやまっすぐに伸ばしたペーパークリップなど）で本体側面のリセット（RESET）ボタンを押して電源を切り、再度電源を入れてください。（このとき「お気に入り」の登録やラジオのプリセット登録は消えますが、保存されている音楽ファイルや設定内容は消えません。）

表示されるメッセージと対応・処置

フォーマットが必要 Incorrect format, reformat the player	ファイルシステムのエラーです。本機をフォーマットしてください。→ 76 ページ
ライセンスが無効です DRM license not available	ドラッグ＆ドロップ転送した WMA-DRM ファイルを再生しようとすると表示されます。Windows Media Player10 または 11 を使って転送し直してください。→別紙クイックガイド参照
ライセンスが期限切れです DRM license has expired	WMA-DRM ファイルの複製制限を超えた音楽データを再生しようとすると表示されます。複製制限を超えたファイルは本機では再生できません。
ファイル名が違います No file handle.	ボイス録音時に、音声ファイルを自動生成できないときに表示されます。Record フォルダのリスト最下位が命名規則に当てはまらないファイル（パソコンから転送したファイルなど）の場合、音声ファイルを自動生成できません。パソコンから転送したファイルの名前を変更するか、ファイルを削除してください。
HOLD....	HOLD スイッチが入り本機がロックされています。解除するには HOLD スイッチを操作してください。→ 86 ページ
電池容量不足 Low Battery!	充電池容量がありません。本機を充電してください。→ 17 ページ
メモリ容量不足 Memory Full!	記録容量がありません。不要なファイルを削除するなどしてください。
Unknown Error	予期せぬエラーです。本機をリセットしてください。→ 15 ページ
再生できません Unknown File	本機で再生できない形式のファイルを再生しようとすると表示されます。該当ファイルを削除してください。
再生できません Unsupported file type	本機でサポートしていない形式の音楽ファイルを再生しようとすると表示されます。該当ファイルを削除してください。

再生できません Track playback failure	ファイルの再生に失敗したときに表示されます。
空き容量がありません。 Contents Warning!	音楽ファイル、音声ファイル、フォルダの登録数が最大（2000 件）に近づいたときに表示されます。不要なデータを削除してください。
空き容量がありません Contents Full	音楽ファイル、音声ファイル、フォルダが最大登録数（2000 件）を越えたときに表示されます。不要なデータを削除してください。
PC と接続して消去してください Connect to PC and delete some	メモリの空き容量が無く、本機での操作が不可能なときに表示されます。 パソコンに接続して、不要なデータを削除してください。
temperature low!	本機の温度が低いときに表示されます。温度が充電可能範囲（5 ℃～ 35 ℃）に上がるまでお待ちください。
temperature high!	本機の温度が高いときに表示されます。温度が充電可能範囲（5 ℃～ 35 ℃）に下がるまでお待ちください。

10-2. 本機を廃棄するときのご注意

本機に内蔵されている充電池はリサイクルできます。
充電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。
本機を廃棄するときは、ビクターサービス窓口にご相談ください（別紙「ビクターサービス窓口案内」参照）。

Li-ion

10-3. 仕様

本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

モデル名	XA-M40	XA-M20	XA-M10
形式	デジタルオーディオプレイヤー		
内蔵メモリサイズ *1	4 GB	2 GB	1 GB
ディスプレイ	有機 EL ディスプレイ		
ボイス録音	ADPCM 方式、内蔵モノラルマイク		
再生フォーマット	MP3/WMA/WMA-DRM10 *2/WAV		
ビットレート	MP3：8 kbps ～ 320 kbps 、 WMA：32 kbps ～ 192 kbps		
最大収録曲数 *3	2000 曲		
周波数特性	60 Hz ～ 20 kHz、＋0 dB ～ －3 dB（オーディオ）		
FM 受信周波数	76.0 MHz ～ 108.0 MHz（TV：1CH ～ 3CH）		
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック× 1）		
実用最大出力	ヘッドホン 3.5 mW ＋ 3.5 mW（16 Ω）		
電源	内蔵充電式リチウムイオン電池		
連続再生時間	約 35 時間（オーディオ再生）*4、約 24 時間（ボイス再生時）、約 11 時間（FM 受信時）		
最大録音時間	約 44 時間 *5	約 22 時間	約 11 時間
本体寸法	幅約 40 mm × 高さ 80 mm × 奥行 9.8 mm（突起部含まず）		
質量	約 30 g		

*1 メモリー容量の一部をシステム領域に使用しているため、ユーザー使用可能領域は一般的な容量表示より少なくなります。
*2 デジタルデータの著作権を保護するため複製に制限のかけられたWMA ファイルです。
*3 本機で取り扱える最大曲数です。短い曲など音楽ファイルのデータサイズが小さくても、最大収録曲数は変わりません。ビットレートと収録時間の目安については 27 ページを参照してください。
*4 条件：MP3（128 kbps、fs=44.1 kHz）ファイル再生、EQ（イコライザー）：ノーマル、ディスプレイ表示時間 20 秒、スクリーンセーバー「オフ」で再生した場合
*5 1 ファイルの大きさは 2GB 以下にしてください。

■ 対応 OS

Windows®XP、Windows Vista®

10-4. 索引

アルファベット・マーク

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

10-5. 保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書	補修用性能部品の最低保有期間
所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。 保証期間はお買い上げの日より1年間です。	製造打ち切り後6年です。 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

・お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
・お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
・次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
③お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

● 下記アドレスのホームページより、ご回答ください。

http://www.victor.co.jp/reg/

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
本書は、本書記載内容で、無料修理または本体部の交換を行なうことをお約束するものです。
保証対象はハードウエアのみでソフトウエアは含みません。
本製品使用時に利用されるパソコン、ハードウエア、その他関連システムなどに起因する互換性の問題は保証の範囲に入りません。
この製品を使用したため、または使用できなかったためにいかなる損害が発生しても保証の範囲に入りません。
何らかの理由により、修理または該当製品と同等の製品に交換できない場合、お客様のご希望を確認の上、その後継機種との交換を持ってこれに換える場合があります。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際弊社の判断で再生部品を用いる場合があります。修理に出す前に、メモリ内のデータはお客様にてバックアップをしてください。また、本製品およびパソコンの不具合、誤使用によりデータが破損または消去された場合、データ内容およびそれに伴う一切の補償はできません。
   商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。

（1）本書のご提示がない場合。
（2）本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
（3）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。

（4）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
（5）火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用電源（電圧・周波数）による故障および損傷。
（6）不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
（7）一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用および車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
（8）消耗品（内蔵充電池など）の消耗。
（9）持込み修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
（10）不注意、許可なしに行なった修正 / 改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウエア、ファームウエアが原因となって損傷が発生した場合。

4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって日本ビクター㈱およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のビクターサービス窓口にお問い合わせください。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

保証書

持込修理

<table>
<tr><td>型名</td><td colspan="3">XA-M40-A/-B/-N/-R/-W
XA-M20-A/-B/-N/-R/-W
XA-M10-A/-B/-N/-R/-W</td><td>製造番号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td>お名前</td><td colspan="3">ふりがな
様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="3">□□□-□□□□　電話（　　）　－</td></tr>
<tr><td colspan="2">お買い上げ年月日</td><td rowspan="2">保証期間</td><td colspan="2" rowspan="2">お買い上げ日から
本体　1年間</td></tr>
<tr><td colspan="2">年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="5">お買い上げ店　住所・店名・電話</td></tr>
</table>

お客様へのお願い：

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認出来る書類（シールやレシート等）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. ご贈答品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にお申し出、ご相談ください。
3. ご転移の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理の依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング株式会社**	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 **お客様ご相談センター**
別紙の「ビクターサービス窓口案内」 をご覧ください。	0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 （045）450−8950 FAX（045）450−2275 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

・ ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、96ページをご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0808SKMCREAMAX